

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-イ	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	施策	① 生活環境基盤の整備
			施策の小項目名	○電力の安定的かつ適正な供給の確保
主な取組	海底ケーブル新設・更新の促進			
対応する主な課題	①小規模離島自治体の財政基盤は脆弱な上、水道事業や廃棄物処理などで広域的な対応が困難なことから高コスト構造とならざるを得ない。また、人口規模や経済規模が小さいことから医療、福祉、電力、水道、情報通信などのサービスが十分に受けられない又は割高となるなど、本島との格差は依然として課題となっている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
離島における電力の安定的かつ適切な供給を確保するため、海底ケーブルの新設・更新を促進する。			西表島～鳩間島	慶良間諸島	伊是名島～伊平屋島 石垣島～竹富島～小浜島～西表島 西表島～新城	備瀬崎～伊江島
		実施主体		電気事業者		
担当部課【連絡先】	商工労働部産業政策課		【098-866-2330】		離島へ電力を供給する海底ケーブルの新設・更新の促進	

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	小規模離島電力安定供給支援事業						R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画
	主な財源	実施方法	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算見込額	当初予算額	
一括交付金(ソフト)	補助	592,060	—	—	—	—	—	—	OR元年度：電気事業者と連携を図りながら、海底ケーブルの更新・新設の促進を図る。 OR2年度：電気事業者と連携を図りながら、海底ケーブルの更新・新設の促進を図る。

様式1(主な取組)

活動指標名	離島へ電力を供給する海底ケーブルの新設・更新				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	協議実施	協議実施	協議実施	協議実施	100.0%	0	順調	電気事業者と、新設・更新箇所の優先順位や最新の状況について協議を実施した。
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名					R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・海底ケーブルの新設・更新については多くの費用がかかるため、電気事業者はコスト削減策等を慎重に検討する必要がある。 ・引き続き電気事業者と協議を行い、耐用年数が経過しているケーブルについては更新を促していく。 						<ul style="list-style-type: none"> ・海底ケーブルの状況を踏まえ、最新の 新設・更新計画について協議を実施した。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・海底ケーブルの更新が円滑に進むよう、県としてどのような支援が必要か検討する必要がある。

○外部環境の変化

・内閣府において、令和2年度事業として海底ケーブル更新の補助を行う「沖縄小規模離島生活基盤整備推進事業」を実施することとしている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・国や電気事業者と連携し、海底ケーブルの新設・更新に取り組む必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・内閣府及び電気事業者と連携し、海底ケーブルの更新が円滑に進むよう協力するとともに、増設については県がどのような支援が可能か検討していく必要がある。